降 誕 日 前 夕
夕 の 礼 拝

2020 年 12 月 24 日（木）19 時以降
YouTube にて配信

※教会 HP（https://nskk-nara.com/）内の
「2020 年 12 月 24 日（イブ礼拝）」
からご覧いただけます。

日本聖公会　京都教区
奈 良 基 督 教 会

降 誕 日 前 夕　　夕 の 礼 拝

司式者は聖堂の入口に立って言う。

司式者　主イエス・キリストの平和と光が、皆さんとともに

会衆　**また、あなたとともに**

＊懺悔と赦しの祈り

司式者　主イエス・キリストのご降誕を喜びをもって迎えるため、神のみ前で自らを省み、ともに罪の赦しを祈りましょう

ここで一同ひざまずく。あるいは着席したままでもよい。

しばらく自らを省みた後、一同で唱える。

一同　**憐れみ深い父なる神よ、わたしたちは、してはならないことをし、しなければならないことをせず、思いと、言葉と、行いによって、多くの罪を犯しています。神よ、どうかわたしたちの心と思いから闇を除き、わたしたちを憐れみ赦してください。新しい命に歩み、み心に従い、み栄えを現すことができますように、救い主イエス・キリストによってお願いいたします。　　アーメン**

司祭がいない場合には、司式者は「皆さん」を「わたしたち」と読み替える。

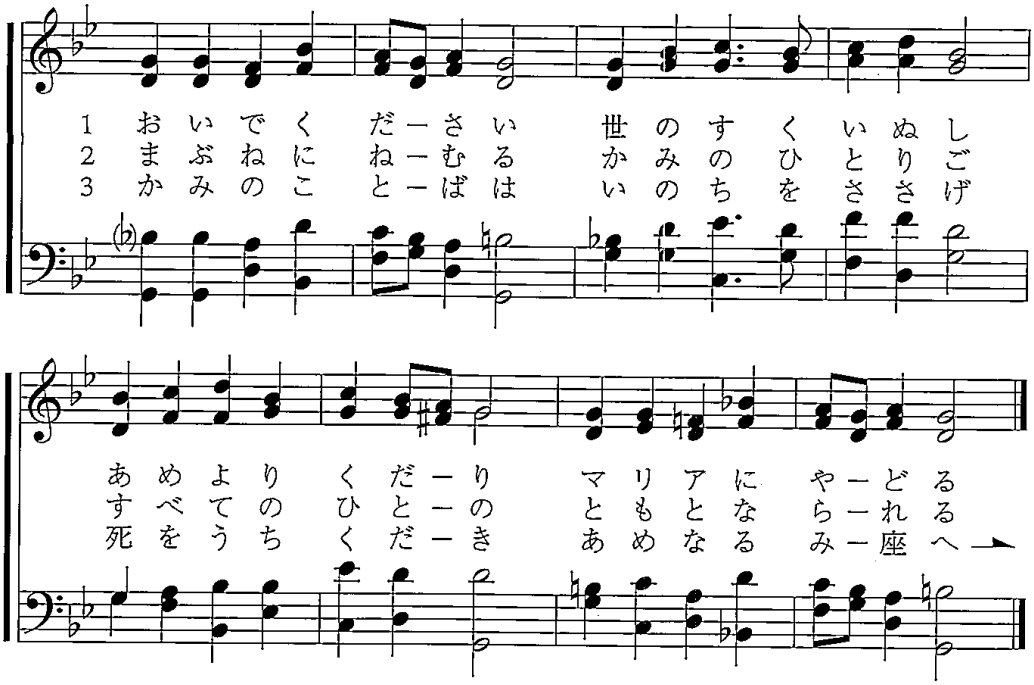
司　祭　全能の神が「皆さん」を憐れみ、その罪を赦し、恵みと力を与え、み心にかなう新しい生涯を送らせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。

会衆　**アーメン**

一同立つ。

司式者団は入堂する。

聖　歌　第59番



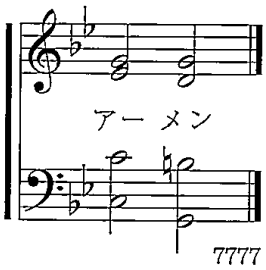
1　おいでください　世の救い主
　天より降り　マリアに宿る

2　まぶねに眠る　神の独り子
　すべての人の　友となられる

3　神の言は　命をささげ
　死を打ち砕き　天なる　み座へ

4　おいでください　世の光　イエス
　永遠の命に　導くために

5　み父と　み子と　聖霊の主に
　栄えは今も　世々限りなく　アーメン



黙22：20　ルカ2：6−7　フィリ2：6−8　ヨハ1：10−13　2コリ8：9

Nun komm, der Heiden Heiland
Martin Luther (1483-1546),
after Ambrose of Milan (340-397)

NUN KOMM, DER HEIDEN HEILAND
Erfurt Enchiridia, 1524

司式者 神よ、速やかにわたしたちをお救いください

会衆 **主よ、速やかにわたしたちをお助けください**

司式者 栄光は // 父と子と聖霊に

会衆 **初めのように、今も // 世々に限りなく　　アーメン**

司式者 主をほめたたえましょう

会衆 **主のみ名をたたえます**

司式者　世界を極めて良いものとしてお造りになった父なる神よ、

会衆　**わたしたちを祝福してください　アーメン**

一同、着席する。

第　1　日　課

朗読者　創世記第 1 章　1 節より

1 初めに、神は天地を創造された。2 地は混沌であって、闇が深淵の面にあ
り、神の霊が水の面を動いていた。3 神は言われた。「光あれ。」
こうして、光があった。4 神は光を見て、良しとされた。神は光と闇を分
け、5 光を昼と呼び、闇を夜と呼ばれた。夕べがあり、朝があった。第一の日
である。　（創 1:1-5）

朗読者　第一日課を終ります

一同立つ。

詩　　編　第 89 編（19〜22，25~29 節）

司式者と会衆とで、一節ずつ交互に唱える。

19 神はかつて幻のうちに語り、あなたの忠実な者に仰せになった // 「わたしは一人の勇士に力を与え、民の中から選ばれた者を高く上げた

20 **僕ダビデを選び // 尊い油を注いだ**

21 わたしの手はいつも彼とともにあり // わたしの腕は彼を強める

22 **敵が彼を欺くことはなく // 悪人が彼を悩ますこともない**

25 わたしは彼の手を海の上に // その右の手を川にまで広げる

26 **彼はわたしに呼びかける // 『わたしの父、わたしの神、わたしの救いの岩』**

27 わたしは、彼を長男とし // 国々の王の上に高く上げる

28 **わたしの慈しみは永遠に変わることなく // わたしの結んだ契約はとこしえに保たれる**

29 わたしは彼の子孫をとこしえに // その王座を天地の続く限り保たせよう

栄光は // 父と子と聖霊に
初めのように、今も // 世々に限りなく　アーメン

司式者　わたしたちの罪を贖うために来られた子なる神よ、

会衆　**わたしたちを命の道に導いてください　アーメン**

一同、着席する。

第　2　日　課

朗読者　イザヤ書第 11 章　1 節より

1 エッサイの株からひとつの芽が萌えいで
その根からひとつの若枝が育ち
2 その上に主の霊がとどまる。
知恵と識別の霊
思慮と勇気の霊
主を知り、畏れ敬う霊。
3 彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。
目に見えるところによって裁きを行わず
耳にするところによって弁護することはない。
4 弱い人のために正当な裁きを行い
この地の貧しい人を公平に弁護する。　（イザヤ 11: 1-4a）

朗読者　第二日課を終ります

聖　　歌　第 72 番

歌：聖歌隊

1　エッサイの根より　　生いいでたる
　くすしき花は　　咲き染めけり
　わが主イェスの　　生まれたまいし
　この　よき日よ

2　イザヤの告げし　　救い主は
　聖き母より　　生まれましぬ
　主の誓いの　　今しも成れる
　この　よき日よ

3　たえにとうとき　　イェスのみ名の
　香りはとおく　　世にあまねし
　いざや　ともに　　喜び祝え
　この　よき日よ

司式者　わたしたちを導いてくださる聖霊なる神よ、

会衆　**わたしたちに霊の賜物をお与えください　アーメン**

第　3　日　課

朗読者　マタイによる福音書第　1 章 18節より

18 イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。19 夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表

ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。20 このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。21 マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」22 このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。

23 「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。(マタイ 1:18-23)

朗読者　第三日課を終ります

一同立つ。

マ　リ　ヤ　の　賛　歌

1　わたしの魂は主をあがめ//　わたしの霊は救い主である神を喜びたたえる
2　**神はこの貧しい女にも//　目を留められた**
3　今から後いつの世の人も//　わたしを幸いな女と呼ぶ
4　**力ある方が//　わたしに偉大なみ業をなさったから**
5　主のみ名は聖//　その憐れみは世々、主を敬い畏れる人に
6　**主はみ腕の力を振るい//　思い上がる者を打ち散らし**
7　権力を振るう者をその座から下ろし//　身分の低い人を引き上げ
8　**飢えた人を良い物で満たし//　富んでいる人をむなしく追い返される**
9　神は父祖アブラハムとその子孫に//　永遠に約束されたように
10　**憐れみを忘れず//　僕イスラエルを助けられた**

栄光は//　父と子と聖霊に
初めのように、今も//　世々に限りなく　ア―メン

司式者　聖霊によって御子をおとめマリアに宿らせられた父なる神よ、

会衆　**常に、わたしたちと共にいてください　アーメン**

一同、着席する。

第　4　日　課

朗読者　ルカによる福音書第 2 章 1節より

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令
が出た。2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最
初の住民登録である。3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立っ
た。4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザ
レから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもって
いた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。6 ところが、彼らが
ベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、7 初めての子を産み、布にく
るんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

（ルカ 2: 1- 7）

朗読者　第四日課を終ります

聖　　歌　第 74 番

歌：アンジェリカ

1　きよしこの夜　星は光り
救いのみ子は　まぶねの中に
眠りたもう　いとやすく

2　きよしこの夜　み告げ受けし
牧人たちは　み子のみ前に
ぬかずきぬ　かしこみて

3　きよしこの夜　み子の笑みに
恵みのみ代の　あしたの光
かがやけり　ほがらかに

司式者 わたしたちのために、ベツレヘムの馬小屋にお産まれになった、子なる神よ、

会衆 **どうか、わたしたちのうちにもおいでください　アーメン**

第　5　日　課

朗読者　ルカによる福音書第 2 章 8節より

8 その地方で羊飼いたちが野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をしていた。
9 すると、主の天使が近づき、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐
れた。10 天使は言った。「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜
びを告げる。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。この方こそ主メシアである。12 あなたがたは、布にくるまって飼い葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。これがあなたがたへのしるしである。」13 すると、突然、この天使に天の大軍が加わり、神を賛美して言った。
14 「いと高きところには栄光、神にあれ、地には平和、御心に適う人にあれ。」
15 天使たちが離れて天に去ったとき、羊飼いたちは、「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」と話し合った。
16 そして急いで行って、マリアとヨセフ、また飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。　（ルカ 2: 8- 16）

朗読者　第五日課を終ります

クリスマス・メッセージ

一同立って、使徒信経を唱える。

使　徒　信　経

わたしは、天地の造り主・全能の父である神を信じます。
また、その独り子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。主は聖霊によって宿り、おとめマリヤから生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、よみに降り、三日目に死人のうちからよみがえり、天に昇られました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから主は生きている人と死んだ人とを審くために来られます。
また、聖霊を信じます。聖なる公会、聖徒の交わり、罪の赦し、体のよみがえり、永遠の命を信じます　　アーメン

一同、着席する。

祈　　り

司式者　主よ、憐れみをお与えください

　会衆　**キリストよ、憐れみをお与えください**

司式者　主よ、憐れみをお与えください

次に一同、主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、み名が聖とされますように。
み国が来ますように。み心が天に行われるとおり、地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。　アーメン

ここで司式者は立つ。

司式者　主よ、主の慈しみを示し

　会衆　**主の救いを与えてください**

司式者　主の仕え人に義をまとわせ

　会衆　**主の聖徒に喜び歌わせてください**

司式者　主の民を救い

　会衆　**主の子らを祝福してください**

司式者　主の平和を今の世に与え

　会衆　**地の果てまで、戦いをやめさせてください**

司式者　主の道をあまねく地に知らせ

　会衆　**主の救いをすべての国に知らせてください**

司式者　主よ、わたしたちのうちに清い心を造り

会衆　**聖霊によって支えてください**

司式者　主は皆さんとともに

会衆　**また、あなたとともに**

司式者　祈りましょう

特　　祷

降誕日特祷

全能の神よ、あなたは独りのみ子に人性を取らせ、この時、清いおとめから生まれさせてくださいました。どうかその恵みによって、再び生まれ、神の子とされたわたしたちを、常に聖霊によって新しくしてください。父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。　**アーメン**

平安のため

すべての聖なる望み、良い思い、正しい業のもとである神よ、この世の与え得ない平安をわたしたちにお与えください。わたしたちがみ心にすべてをゆだね、み力によりあだを恐れず、安らかに日々を過ごすことができますように、救い主イエス・キリストのいさおによってお願いいたします。

アーメン

み守りのため

光の源である神よ、この世の闇を照らし、豊かな憐れみをもってわたしたちを守り、今夜の危険をことごとく防いでください。独りのみ子、救い主イエス・キリストの慈しみによってお願いいたします。　　**アーメン**

一同で次の祈りを唱える。

平和を求める祈り（アシジのフランシス）

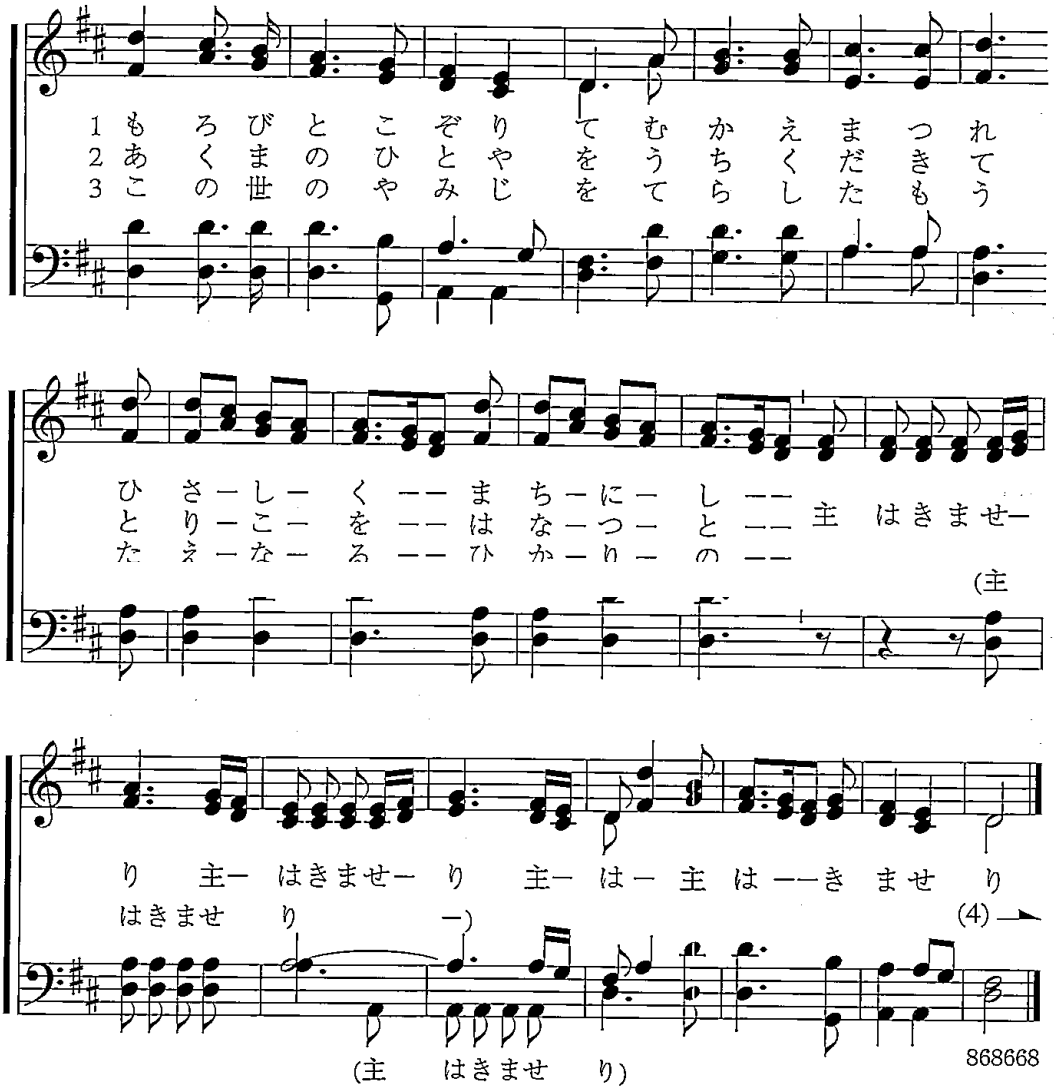
わたしたちを　あなたの平和の道具としてお使いください。
憎しみのあるところに愛を、いさかいのあるところに赦しを、
分裂のあるところに一致を、疑いのあるところに信仰を、
誤りのあるところに真理を、絶望のあるところに希望を、
闇に光を、
悲しみのあるところに　喜びをもたらすものとしてください。
慰められるよりは慰めることを、理解されるよりは理解することを、
愛されるよりは愛することを、わたしたちが求めますように。
わたしたちは与えるから受け、赦すから赦され、自分を捨てて死に、
永遠の命をいただくのですから　アーメン

司式者は、終わりに次のように言う。

主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、わたしたちとともにありますように。　　アーメン

一同立つ。

聖　　歌　第69番



4 しぼめる心の　花を咲かせ
恵みの露 置く　主は来ませり
主は来ませり　主は 主は来ませり

5 平和の君なる　み子を迎え
救いの主とぞ　ほめたたえよ
ほめたたえよ　ほめ ほめたたえよ

後　　奏（聖歌 102 番）

歌：聖歌隊

1　深い闇の最中に　　きらめく星は
道に迷う人への　　神のまなざし
メリーメリークリスマス　　神のみ子よ
ハレルヤ　クリスマス　　歌え喜べ

2　風にすさむ砂漠に　　咲き出る花は
涙ためた人への　　神のかがやき
メリーメリークリスマス　　神のみ子よ
ハレルヤ　クリスマス　　歌え喜べ

3　疲れ果てた心に　　ささやく声は
待ちこがれた人への　　神のおとずれ
メリーメリークリスマス　　神のみ子よ
ハレルヤ　クリスマス　　歌え喜べ

ハレルヤ　クリスマス　　喜びの夜